

＜資料2＞エコ・プロダクツ展 2006 の報告

12月14日～16日 東京ビッグサイトにて、エコ・プロダクツ展（主催：（社）産業環境管理協会・日経新聞者）が開催され、環境技術実証モデル事業のブースを設置。

山岳トイレ技術分野からは、昨年度までの実証済み技術から4社、オリエント・エコロジー(株)、第一公害プラント(株)、(有)山城器材、リンフォース(株)の協力のもと、パネルと模型展示、解説映像の放映、プレゼンテーション（4社合同）を行った。

また、環境技術実証モデル事業シンポジウム(14日)が併催され、各モデル事業関係者からの報告等があった。



シンポジウム風景

展示ブース風景





環境技術実証モデル事業 エコプロダクツ展 2006 参加に関するアンケート (結果)

Q1・エコプロダクツ展を御存知でしたか？ はい 3 いいえ 1

- ・ 環境関連の展示会としては、来場者数も多く、かつて「自己処理型トイレ研究会」でも出展を検討したこともありましたが、展示会の認識はありました。

Q2・来場者の出展内容に関する反応はいかがでしたか？

来場者の高い関心が寄せられた。 平日開催分の方が関心が高かった

- ・ 木、金は見学及び質問等がかなりあったが、土は少なかった。
- ・ 山岳トイレの現状を知らない人が多かった。
- ・ 直接のユーザーである「山小屋・山岳」関係者のブースへの来訪はありませんでしたが、一般客（主に登山をされる方）等に高い関心を持って頂いた3日間でした。
- ・ ブースにお越しになった方々の多くは、「富士山のトイレも良くなったそうですね・・・」などと、山域の自然環境に関心をお持ちの方が大半で、こちらの説明にも熱心に耳を傾けていただきました。
- ・ 非常に良く、多くの来場者にブースで立ち止まって見て頂く事が出来、又、多くの商品問い合わせを頂戴しました。

Q3・今回の出展について、「良かったところ」、「改善が望まれるところ」をそれぞれ御記入下さい。

良かったところ

情報交流の場として有意義であった。 多くのPRができた
環境省ブースでの参加により、出展への敷居が低くできた

- ・ ミニ土壤処理槽を展示、説明すると理解をして頂きました。また、土壤処理技術を理解して頂いたと思います。
- ・ 同様の展示会（環境展・下水道展等）では、社業に応用できる新技術を探る立場でしたが、出展者として参加した今回は、同一技術分野のみならず、同業他社さんとの情報交換、技術的ディスカッションができ、今後の市場動向、販売戦略等に対する有為な時間を得ることができました。
- ・ また、初めて出展者として参加したため、単独出展では戸惑う状況であったと思われませんが、環境省のブースとして参加すること、同一技術分野を並列・比較しての展示方法等、過分に出展への敷居が低く、今後、同様な展示会への参加意欲の高揚にもつながったものと思えます。
- ・ 出展が出来たこと（多くの人に技術を知ってもらう機会を得られた）
- ・ 展示費用をご負担いただいたこと。
- ・ プレゼンテーションにより技術紹介が出来たこと（山岳トイレ分野は、広く浅く技術周知をする段階で、4社1団体を一括した形としたことで数多く発表出来た）
- ・ 弊社商品を多くの方々にアピール出来た事。

改善が望まれるところ

ブース内の来場者の動線上、不利な点があった。 関心を引くための工夫が必要
ブースの外観の工夫画必要（足元、看板）

- ・ 主要通路側がパネルだけで展示物が少ないため、奥側の山岳トイレブースに来る人が少なかった。展示パネルの説明文が小さく読みづらいと指摘されました。
- ・ ブース面積が狭く、通路面のブース以外では来訪者が移動しにくい状況でした。一般のお客様は特に、大通りに面したブースを覗き、興味により中へ入ってくるため（自分が見て回るときもそうですが・・・）数技術分野が混在する今回の展示においては、ブース内のお客様の流れが悪かったように感じました。
- ・ アンケートやクイズを行い来場者の関心を引く仕掛けも必要ではないでしょうか。
- ・ 環境技術実証モデル事業は、参加企業も多かったこともあり、ブース内の出展者が来場者の妨げとなる時間帯もありました（小中学生も数多く来場していましたので、一般の方々に広く環境技術を知ってもらうことに軸足をおくべきではないでしょうか）。
- ・ 会場内は出展者数も多く、ブースを見つけることも難しいので、高い位置に看板を出すと分かり易くなると思います。
- ・ 床に塩ビシートを貼ると見栄えが良くなる（ちなみに、山岳トイレの場所は床にグレーチングありました）。
- ・ 製品や模型展示では、来場者が動かせる（参加出来る）やり方の工夫が必要。
- ・ 出品スペースが会場の関係でやや狭く、もう少し有った方が有り難い事。

Q4・今後、モデル事業としてこのような場が設けられた場合、参加を希望しますか？

希望する 4 / 希望しない 0

Q5・その他、御意見をご自由にお書き下さい。

全国レベルでの情報発信の場として有意義であった。
実証 = 認証ではないが、PRの場として得られたことはうれしい
山岳地から対象エリアの拡大 プレゼンの際のより一層の集客

- ・ 地方企業であり、全国へ向けての情報発信がままならない中、PRの場として有意義な展示会であったと感じています。
- ・ 生産・施工からメンテナンスまでの一貫販売であるため、拠点の無い地域へはなかなか進出しにくい企業体ではありますが、手離れの良い商品・技術の開発の必要性等を再検討する上でも、有意義であったと考えます。
- ・ 実証モデル事業の存在をより多くの人に知ってもらうことは、参加企業の立場でも、大変有意義なことで、今回の試みに関わられた環境省のスタッフの皆さまに感謝いたします。
- ・ 実証試験 = 「認証」でないことは理解していますので、試験参加が売上向上の即効薬にはならないことも認識していますが、今回のような形でPRの機会を得られれば、あとは自助努力の範疇と自覚出来ますので、今後とも出展の継続を強くお願いいたします。
- ・ 山岳トイレ分野のプレゼンは、「NPO法人 日本ビーチ文化振興協会」の方にお願ひしました。海にもトイレの問題があり、「通年で海辺に人が集うためにはトイレが必要」だそうです。自然観境域でのトイレ、し尿処理問題は、山岳域に限定したことでなく、モデル事業のエリアを広げることをご検討いただければと思います。
- ・ 商品プレゼンの際は、もっと主催者が開催の有無を明確に発表して多くの人々に聞いて、見て頂ける様に改善努力願いたい。人が少なかった様に見受けられる。

Q6・エピソード

排水処理技術として、処理技術や、技術輸出への問い合わせがあった
環境保全の観点から、下水道集中負荷軽減として活用されたいとのコメントがあった
諸外国、国内からの商品の引き合わせ、問い合わせ等の話題があった

- ・ 毎日午前、午後1回、エコツアーの旗を持ったガイドが6~7人の人を連れて来て説明を聞いてくれました。最後の日の午後、説明員がたまたまいなかったら、ガイドさんが土壌処理の説明を立派に話したとのことでした。
- ・ 業界の方には、排水処理技術としての関心を示して頂いた方もいらっしゃり、トレンチシステムへの問い合わせ、生物処理技術への問い合わせ、浄化槽技術、中・韓国への技術輸出へのお問い合わせ等も頂きました。
- ・ 東京都の下水道局を退官された方から、「山岳トイレにとどまらず、下水道の集中負荷を軽減するためにも、もっと広範囲にこのようなトイレを活用すべき。普及に向けての戦略を検討しては……」と、環境保全の観点から大変力強いエールを貰いました。
- ・ 中華人民共和国をはじめ、諸外国及び国内の方々には商品引き合わせ、問い合わせ等の色々な話題が有り、有意義だった。
- ・ 環境省政務次官をはじめ、省庁高官の方々の方々の来場、弊社ブースでの見学が有り、大変嬉しかった事。